

第8回 新城市若者政策ワーキング

ニュースレター No.6

開催日時：2014/9/15~16
場所：福井県鯖江市
参加者：12名

1日目

第7回地域活性化プランコンテストを視察しました。



Q 地域活性化プランコンテストって何・・・？

全国の大学生が2泊3日で鯖江に泊まり込み、フィールドワークなどを通して、鯖江を活性化する政策プランを練りあげ発表するコンテストです。

今回は24名の市長が自分達で考えたプランをプレゼンしました。3人1組チームで「発想力」・「論理性」・「実現可能性」・「プレゼンテーション」の4項目の市長はじめ5名による採点方式です。

若者政策の先進地である福井県鯖江市に視察研修に行きました。

「大学がないまち鯖江」というキャッチフレーズのもとで市外から大学生が鯖江に訪れる機会が多く用意されており、学生が元気でイキイキしていると感じました。

最優秀チーム 「チーム桜餅」

政策概要



国内のメガネシェア94%という強みからペット用のメガネを作る。



カメラ付きメガネでペット目線でのまちづくりを進める。ペットも市民参加していく。



町塚くん(慶応4年)
塚本さん(静大4年)
住吉くん(慶応4年)

目指せ！

「未来のあたり前」



地域活性化プランコンテストも今年で7回目。鯖江の学生団体がこの地域活性化プランコンテストを運営しています。この学生団体の強い組織力・結束力が何年も継続していることのおすごさを実感しました。

加えて、運営者・参加者・地域・行政・協力者の全員が協働して1つの目標に向かっていくときに生まれるパワーの凄まじさを目の当たりにしました。



若者の活躍できるまちを目指す新城市にとって、鯖江の学生発信のまちづくりは、理想的な形だと感じました。しかし、鯖江をすべて真似るのではなく、鯖江のノウハウを吸収し、新城オリジナルの方法で「若者が活躍できるまち」の実現に向けて動いていきたいと思えます。

2日目

鯖江市役所で3つの事業について、各担当者から話を聞きました。

鯖江市は若者が政策を提案する環境が整っており、行政側も若者の提案をないがしろにせず、若者の意見を尊重し、なんとか実現しようという意識が非常に高いと感じました。提案した政策が実現されることによって若者の士気が上がり、次回へとつながる原動力となっています。



鯖江市役所JK課



• 地域活性化プラン
コンテスト

• 学生提案型プラン
具現化検討

• JK課

鯖江市役所にて



誠照寺にて



メンバーの想い 視察を通じて

「地域活性化プラン
コンテスト in 新城」
来年ぜひやりましょう
(^ー^)

新城市の若者政策はまだ始まったばかり。焦らずじっくり進んでいけばいいね。

若者だけでまちづくりを進めていくのは難しく、色々な世代の方の協力が必要だと感じました。

鯖江の学生の活動を見て、私たちももっと新城のまちづくりに関わっていきたく思った！

鯖江の皆さんのように楽しくまちづくりが出来ればいいなあ・・・

一味も二味も味付けしつつ、新城色のプランコンテストを創りあげたい☆